

講義名	日本語C【留学生科目】		
科目区分	留学生		
担当教員	野村 由香里		
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 4時限	授業形態	
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 スポーツ健康コース/2018年度 人間社会学部 人間健康学科 健康マネジメントコース/2018年度 人間社会学部 人間健康学科/2018年度 人間社会学部 観光学科 ホテル・ブライダルコース/2018年度 人間社会学部 観光学科 観光事業コース/2018年度 人間社会学部 観光学科/		
履修開始年次	2年生	単位数	2
		備考	

主題と概要
<p>大学ではレポートの作成、また、卒業論文の執筆が必須である。そこで、この授業では論文の書き方を基礎から学習する。具体的には、話し言葉と書き言葉の違い、論文に合う文体、文章の要約、また、文章全体の構成、参考文献の書き方等、順を追って学習していく。</p>

到達目標
<p>留学生が大学でレポートや論文を書く際に必要な基礎知識を身に付ける。</p>

提出課題
<p>授業中に指示</p>

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック
<p>授業中に個別に指示</p>

評価の基準
<p>授業中の課題点（70％） 期末課題（30％）</p>

履修にあたっての注意・助言他
<ol style="list-style-type: none"> 1. 出欠確認は毎回点呼を行う 2. 5回以上欠席した場合は期末試験を受けることができない 3. 授業が始まって15分以内の入室は遅刻とみなし、遅刻3回で1回の欠席となる 4. 15分以上の遅刻は欠席とみなす（授業は受けてもよい） 5. 授業時には辞書を携帯すること

教科書
<p>. 使用しない。</p>

プリント資料及び参考文献
<p>『小論文への12のステップ』友松悦子著 スリーエーネットワーク 2008 ISBN978-4-88319-488-9 C0081 『大学で学ぶための日本語ライティング』佐々木瑞枝他著 The Japan times 2006 ISBN4-7890-1221-2 『留学生のための論理的な文章の書き方』二通信子著 スリーエーネットワーク 2008 ISBN978-4-88319-257-1 C0081</p>

授業計画
<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業内容や評価などの説明/表記の仕方1 2. 表記の仕方2 3. 文体 4. 話し言葉と書き言葉 5. 小論文によく使われる表現 6. 段落 7. 要約文を書く1 8. 要約文を書く2 9. 中間期理解度試験の実施及びその解説 10. 意見文を書く1 11. 意見文を書く2 12. 事実を示す方法 13. 引用の表現 14. 小論文のはじめと終わり/参考文献の書き方 15. 総括

授業形態（アクティブ・ラーニング）
<input type="checkbox"/> ア：PBL（課題解決型学習）
<input type="checkbox"/> イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="checkbox"/> ウ：ディスカッション、ディベート
<input type="checkbox"/> エ：グループワーク
<input type="checkbox"/> オ：プレゼンテーション
<input type="checkbox"/> カ：実習、フィールドワーク

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間
<ol style="list-style-type: none"> 1. 授業前には、その日に習う事柄に一通り目を通し、分からない言葉があれば調べておく 2. 授業後には、その日に学習したことを、もう一度復習しておく 3. 日頃から日本語の書き言葉に慣れるために、いろいろな文章に目をおしておく以上、1時間程度。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考